



美しい田園21通信

美しい
田園
21

〒105-0004

東京都港区新橋 5-34-4 農業土木会館

NPO 美しい田園 21

Tel 03-3434-5056 Fax 03-3434-5057

メール npo@denen21.jp

問い合わせや活動報告はこちらへ

ホームページ <http://www.denen21.jp/>

最新情報や田園通信のバックナンバーはこちらから

目次

- | | |
|------------------------|------|
| 1 永源寺ダム湖岸クリーン作戦実施報告 | 近畿支部 |
| 2 一の木ダム周辺クリーンアップ 作戦に参加 | 近畿支部 |
| 3 蔵王ダムクリーン作戦に参加 | 近畿支部 |

1. 永源寺ダム湖岸クリーン作戦実施報告 近畿支部

作業終了後集合

平成29年10月11日に「永源寺ダム湖岸クリーン作戦」を実施させて頂きました。この活動は「ダム愛護事業」の一環として平成6年度より毎年実施しており本年度で23回目を迎えたところです。

本年は、愛知川沿岸土地改良区の役職員はもとより、ダム総代や管内のは場整備土地改良関係者の皆さん、漁協組合関係の皆さん、国や県・市町職員さん・OB職員さん、民間企業の皆様などの多方面からのご参加をいただき、総勢191名での清掃作業となりました。

作業は、主に右岸の網場付近を中心に実施していただきました。ダム湖に漂着した流木等は、ダム施設の故障の原因となり管理上支障をきたすところです。また湖岸に漂着している場合も景観を損ないます。そのためにも毎年かんがい期が終了後、ダム貯水位が低下したこの時期に清掃活動をしています。

今年は短時間に大きな降雨があったことから大きな流入量もあり、流木の中には大木もあり、チェーンソーで分割・数人での運搬などをしながら集積するのなかなか大変でありました。また貯水池法面の足元が悪く、歩くのも儘ならない状況での作業でした。

参加者皆様のご尽力により下の写真のように大変きれいになり、施設利用者として喜んでいる次第です。参加いただきました皆様ありがとうございました。



実施前



作業中



実施後

2. 一の木ダム周辺クリーンアップ作戦に参加 近畿支部

場 所：奈良県五條市野原(五条吉野地区)

実施日：平成29年10月28日(土曜日)

主 催：五條吉野土地改良区、五條吉野基幹水利施設管理協議会

共 援：NPO法人美しい田園21、水土里社 トきんき



参加者：約 50 名(うち会員 7 名)

概要：一の木ダム付替え道路側溝の土砂上げと沿線道路のゴミ拾い

この作業は、毎年 11 月下旬に西吉野柿選果場で開催される「柿の里まつり」に合わせ一の木ダム周辺の清掃を行うもの。総勢 50 人余りが三班に分かれ、ダム湖周辺道路側溝の土砂上げとゴミ拾いを行った。秋雨前線に伴う長雨と台風 21 号で側溝に土砂が流入。22 号に伴う小雨の中での重労働。大変疲れましたが、その分達成感はありました。作業後に柿選果場に立ち寄り、五條市特産の柿を購入して帰路に。



3、蔵王ダムクリーン作戦に参加 近畿支部

場所：滋賀県蒲生郡日野町蔵王(日野川地区)

実施日：平成 29 年 11 月 2 日(木)

主催：水土里ネット日野川流域、日野川流域みずすまし推進協議会

共催：日野川用水施設管理協議会、NPO 美しい田園 21、水土里サポート近畿、日野川会

参加者：117 名(うち会員 11 名)

概要：

晩秋の晴天の中、総勢 117 名が参加して「グラウンドワーク in 蔵王ダム 2017」が今年も開催されました。

普段の蔵王ダム貯水池は青緑色をしており、青空と背後の鈴鹿山脈の南西に位置する綿向山をバックに自然の景観美にあふれた姿を見せているのですが、今年の蔵王ダムは趣が異なっておりました。

貯水池は茶色に染まり、洪水吐からは多量の水が溢れておりました。これは、10 月 20 日から 23 日にかけて超大型で非常に強い勢力を保ったまま近畿地方に接近した台風 21 号や前線による影響で、降雨量は滋賀県高島市朽木で 373.5 mm、甲賀市土山で 270.5 mm を観測し、日野町に隣接する東近江市桜川東でも観測史上 1 位の降雨値が更新されました。また、その 1 週間後に発生した台風 22 号による影響もあり、絶え間なく貯水池に流入してきている状況にありました。蔵王ダム管理所の話によると、台風 21 号による洪水は下流に流出することなく、結果的にはダムが有する洪水調整機能が有効に働き、蔵王ダムでほとんどカットしたようです。これも、夏場は渇水状態で、利水容量が 20% を切っていたことも影響したようです。

10 月中旬から下旬にかけての長雨から解放され、今日は暑い位の晴天、快適なボランティア活動日和です。その影響もあり、昨年を上回る参加者が続々と集まってきました。受付を済ますと、主催者側より、リップラップの間に繁茂しているコセンダングサやチジミザサ等のくっつく草系の除去に適したゴム性の手袋等が手渡されました。

毎年参加されている方々が多く、作業内容の説明が終わると同時に、手際よく草取り鎌、収集袋を手に持ち、蔵王ダム上流側法面、下流側法面に移動し、リップラップ材の間から生えている雑草の除去、管理用道路植栽の剪定、道路清掃等の作業に携わりました。

綿向山から吹き下す冷たい風もなく、少し身体を動かすだけで、気持ちの良い汗をかくことができ、作業終了時には美味しいお茶を飲みながら今年の蔵王ダムクリーン作戦(グラウンドワーク in 蔵王ダム 2017)を無事終了することができました。



主催者側の挨拶



堤体上流側作業



堤体下流側作業状況